

提出日：2024年1月21日

スマイレージから見るつんくの歌詞における表現特性

22C1157 安藤晃希

はじめに

2023年ハロー！プロジェクトは25周年を迎えた。1998年に平家みちよ（注4）・モーニング娘。合同ファンクラブ「Hello！」としてスタートして以来、四半世紀の長きにわたり多くの人に愛されてきたのは、メンバーの力はもちろん、長年にわたりハロープロジェクトの総合プロデューサーを務めたつんくの力が大きいだろう。今回はつんくがプロデュースを手掛けたグループの一つであるスマイレージの歌詞からつんくの歌詞における表現特性を調査していきたい。

1 研究概要

1-1 研究対象

1-1-1 つんくについて

つんくⁱは、1968年生まれ、大阪府出身の歌手、音楽プロデューサー、芸能事務所社長である。1988年12月、はたけ・まこと・たいせー・しゅうととともにシャ乱Qⁱⁱを結成。ボーカルを担当。1992年に「18ヶ月」でメジャーデビュー。1994年毎日放送「MBSヤングタウン」で共演したFUJIWARAの楽曲「明日が来る前に」のプロデューサーとしてプロデュース活動を開始した。1997年ⁱⁱⁱにはテレビ東京「ASAYAN」のオーディション番組「シャ乱Qロックヴォーカリストオーディション^{iv}」の落選者5人から結成されたモーニング娘。^vのプロデュース活動を開始した。その後もハロー！プロジェクト^{vi}のグループの総合プロデューサーとして、ハロー！プロジェクトのほとんどの楽曲を手掛ける。2006年にはゲームソフト「リズム天国」シリーズのプロデュースを手掛ける。同年10月、総合エンターテインメント事務所「TNX株式会社」を設立。2014年に咽頭がんを患い、声帯を摘出した。同年10月5日のモーニング娘。のニューヨーク公演をもってハロー！プロジェクトの総合プロデューサーを退いてからは、手掛ける楽曲の数は極めて少なくなったものの、モーニング娘。の楽曲においては、現在もシングル楽曲・アルバム楽曲ともほとんどの楽曲を手掛けている。ハロー！プロジェクト以外にも数多くのアーティストのプロデュースや楽曲提供を手掛け、JASRAC登録楽曲数は2023年現在2000曲に迫る。

1-1-2 スマイレージ (S/mileage) について

スマイレージ^{vii}は2009年4月「ハロプロエッグ^{viii}」の和田彩花・前田憂佳・福田花音・小川紗季の4名から結成された。グループ名は「スマイルとマイレージ」「スマイルとエイジ」という2つの部分でかかっており、「スマイルがマイレージのようにどんどん貯まるように」「スマイルの世代」という意味が込められている。スマイレージ名義時代のキャッチフレーズは「日本一スカートの短いアイドルグループ」である。第52回日本レコード大賞最優秀新人賞受賞。2014年12月17日の公演後「アンジュルム」の改名が発表された^{ix}。その後もメンバーの入れ替えをしながら、現在は11人で活動している。また、今回の調査ではスマイレージ名義でリリースされた楽曲のみとし、改名後のアンジュルム名義の楽曲は対象としない。この理由については注 ix を参照のこと。

1-2 対象楽曲

つんくが作詞を手掛けたスマイレージのインディーズシングル及びメジャーシングル(カップリング曲を含む)楽曲全37曲を調査対象とする。インディーズシングル及びメジャーシングル(カップリング曲を含む)に含まれているにもかかわらず今回の調査対象から除外した楽曲とその理由は次に示す。

<除外した楽曲とその理由>

1枚目シングルのカップリング曲「サンキュ！クレームブリュレの友情」はつんくが作詞していない楽曲のため除外した。2枚目シングルのカップリング曲「○○がんばらなくてもいいんだよ！！」は表題曲の「○○がんばらなくてもええねんで！！」の共通語バージョンであり、歌詞の語尾に変化があるものの、歌詞の意味自体に大きな違いがないため除外した。その他、カップリング曲の中には同じハロー！プロジェクトのグループのカバー曲(つんく作詞)が7曲含まれていたが、今回はスマイレージのオリジナル楽曲のみを調査対象とするため除外した。

NO.	シングル (25曲)	リリース日
Indie 1	あまのじゃく	2009/6/7
Indie 2	明日はデートなのに、今すぐ声が聞きたい	2009/9/23
Indie 3	スキちゃん	2009/11/23
Indie 4	オトナになるって難しい！！	2010/3/14
1	夢見る15歳 ^x	2010/5/26
2	○○がんばらなくてもええねんで！！ ^{xi}	2010/7/28
3	同じ時給で働く友達の美人ママ	2010/9/29
4	ショートカット	2011/2/9
5	恋にBooing ブー！	2011/4/27

6	有頂天 LOVE	2011/8/3
7	タチアガール	2011/9/28
8	プリーズミニスカポストウーマン！	2011/12/28
9	チョトマテクダサイ	2012/2/1
10	ドットビキニ	2012/5/2
11	好きよ、純情反抗期。	2012/8/22
12	寒いね	2012/11/28
13	旅立ちの春が来た	2013/3/20
14 ^{xii}	新しい私になれ！	2013/7/3
14	ヤッターチャン	2013/7/3
15	ええか！？	2013/12/18
15	「良い奴」	2013/12/18
16	ミステリーナイト！	2014/4/30
16	エイティーンエモーション	2014/4/30
17	嗚呼 すすきの	2014/8/20
17	地球は今日も愛を育む	2014/8/20

No.	カップリング曲（12曲）	リリース日
2	スマイル美人	2010/7/28
4	パン屋さんのアルバイト	2011/2/9
5	初恋の貴方へ	2011/4/27
6	自転車チリリン	2011/8/3
7	スマイル音井 ^{xiii}	2011/9/28
8	こんにちは こんばんは	2011/12/28
9	涙 GIRL	2012/2/1
9	チャンス到来！	2012/2/1
10	すまいるブルース	2012/5/2
11	君は自転車 私は電車で帰宅	2012/8/22
12	私、ちょっとカワイイ裏番長	2012/11/28
13	どうしよう	2013/3/20

2 研究方法

今回、つんくの歌詞における表現特性を明らかにするにあたって、以下の項目を用いて量的な分析を行うことにした。各項目への分類はつんくのライナーノーツも参照しながら判断した。加えて、個別に歌詞を文単位で抜き出し、質的な分析も行うことにした。

「ジャンル」

全曲を【恋愛】【青春】【応援】の3つに分類した。

【恋愛】恋愛に関する描写が有り、特定の相手（2人称）の存在が確認できるもの。

【青春】主人公が学生であり、【恋愛】【応援】のどちらにも分類されないもの。

【応援】特定の登場人物おらず、勧誘的表現が複数回登場するもの。

「主人公」

曲中に出てくる一人称及び二人称を抽出した。

「性別」

曲中において出てくる一人称及び二人称の性別を抽出した。

だが、「ジャンル」特に「恋愛」に関しては同項目に分類した中でも曲の内容にばらつきがあるものが多かったため、その項目に関しては「ジャンル内分け」として【片想い】なのか【進行中】であるか細分類した。

分類したものを以下に示す。

NO.	タイトル	ジャンル1	ジャンル2	一人称	二人称
In1	あまのじゃく	恋愛	片想い	—	君（男）
In2	あすはデートなのに、今すぐ声が聞きたい	恋愛	進行中	私（女）	—
In3	スキちゃん	恋愛	進行中	—	君（男）
In4	オトナになるって難しい！！	青春	—	女の子	—
1	夢見る15歳	青春	—	女の子	—
2	〇〇がんばらなくてもええねんで！！	応援	—	—	—
3	同じ時給で働く友達の美人ママ	恋愛	片想い	私	—
4	ショートカット	恋愛	進行中	—	—

5	恋に Booing ブー！	青春	—	女の子	—
6	有頂天 LOVE	恋愛	進行中	—	—
7	タチアガール	応援	—	私（女）	—
8	プリーズミニスカポストウーマン！	恋愛	片想い	私（女）	—
9	チョトマテクダサイ	青春	—	—	—
10	ドットビキニ	青春	—	—	—
11	好きよ、純情反抗期。	恋愛	片想い	私（女）	君（男）
12	寒いね。	恋愛	進行中	私（女）	君（男）
13	旅立ちの春が来た	恋愛	進行中	私（女）	—
14	新しい私になれ！！	青春	—	私（女）	—
14	ヤッターチャン	応援	—	うち（女）	—
15	ええか！？	応援	—	—	—
15	「良い奴」	恋愛	片想い	私（女）	君（男）
16	ミステリーナイト	青春	—	私（女）	—
16	エイティーンエモーション	青春	—	—	—
17	嗚呼 すすきの	恋愛	進行中	私（女）	—
17	地球は今日も愛を育む	恋愛	進行中	私（女）	—

NO.	タイトル	ジャンル1	ジャンル2	主人公	登場人物
2	スマイル美人	恋愛	進行中	私（女）	—
4	パン屋さんのアルバイト	恋愛	片想い	私（女）	—
5	初恋の貴方へ	恋愛	進行中	—	貴方（男）
6	自転車チリリン	恋愛	片想い	—	—
7	スマイル音井	応援	—	—	—
8	こんにちは こんばんは	恋愛	進行中	—	—
9	涙 GIRL	青春	—	私（女）	—
9	チャンス到来！	応援	—	—	—
10	すまいるブルース	青春	—	私（女）	—
11	君は自転車 私は電車で帰宅	恋愛	進行中	私（女）	君（男）
12	私、ちょっとカワイイ裏番長	恋愛	進行中	私（女）	—
13	どうしよう	恋愛	進行中	私（女）	—

3 予想される結論

今回の調査対象であるスマイレージは結成時のメンバーの平均年齢は13.5歳であることから、この年代ならではの表現が見られると思う。他のハロー！プロジェクト楽曲にも多く見られる強い女性のような描写も見られると思う。調査楽曲の数も少なく、その期間も約5年間であること、グループのメンバーの入れ替わりもあまりなかったことから、データの偏りがあまり出ないことが想定される。

4 作品の分析結果

<量的分析>

頻出語句 ※間投詞（YEAH、WOW など）は除外した。

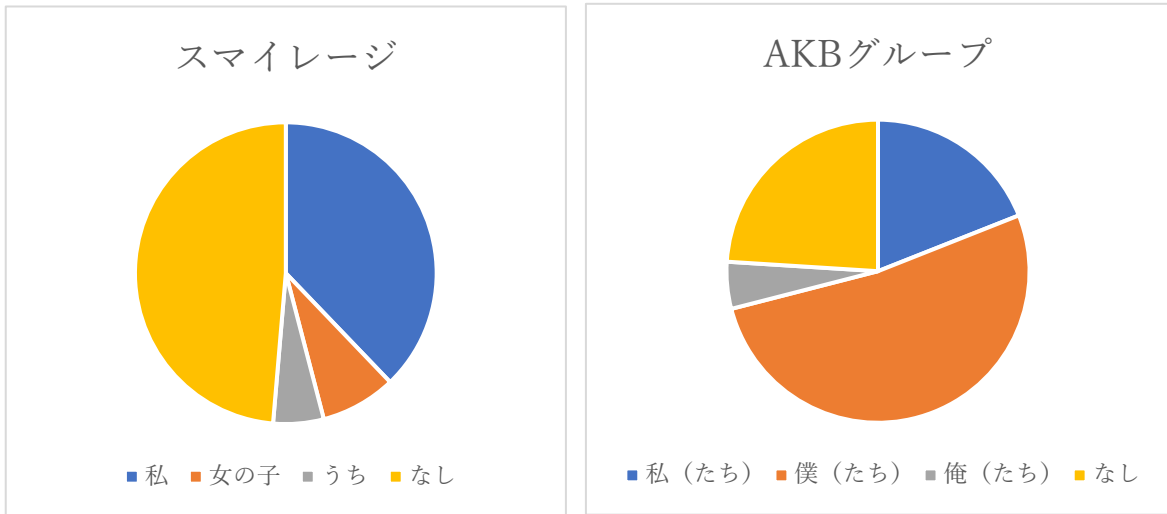
1	愛	42
2	今日	38
3	恋	35
4	良い	34
5	夏	26
6	夢	25
7	手	24
8	まだ	23
8	もっと	23
8	人生	23

ジャンル別で見ると【恋愛】が一番多く、細分類で見ると【進行中】の楽曲が多かった。主人公はほとんどが女性で、呼称はほとんどが「私」だった。登場人物は【恋愛】のジャンルが多かったこともあり、ほとんどが男性で、呼称は「君」と「あいつ」の同率、次点で「彼」だった。「あいつ」が使われていたケースでは、もともとの関係性が友人や幼馴染であることがほとんどだった。つまり、この呼称の使い分けは、相手との関係性を表現しているものだと言える。

<他のアーティストとの比較>

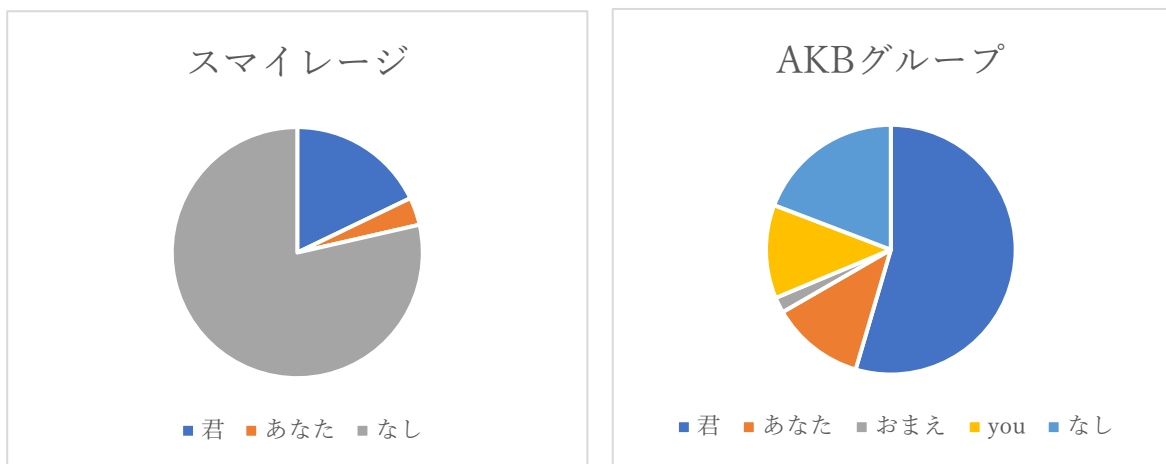
AKBグループのプロデューサー秋元康の表現特性について調査した杉原（2019）をもとにスマイレージとAKBグループとの比較を行う。

<一人称>



スマイレージ楽曲では、一人称がないものが多くみられたものの、次点では飛びぬけて「私」が多かった。一方、AKBグループ楽曲では、「僕（たち）」が飛びぬけて多かった。また、AKBグループ楽曲に多くみられた「僕（たち）」「俺（たち）」といった男性的な一人称がスマイレージ楽曲には一曲もみられなかった。

<二人称>



スマイレージ楽曲では、二人称がないものが多くみられた。「なし」を除けば、スマイレージ楽曲、AKBグループ楽曲ともに「君」が多くみられた。AKBグループ楽曲には「you」という二人称が「あなた」と同数次点で多くみられた。

<質的分析>

歌詞を文単位で抜き出し、それぞれ特徴ごとに分類を行う。抜き出した歌詞と括弧内にはタイトルを以下に示す。

<強さ>

<対自分>

そんな簡単な女の子じゃないわ (オトナになるって難しい)
理想とか下げるわきゃいかない (オトナになるって難しい)
これ以上優しくしないでウソ泣きしてあげるから (あまのじゃく)
今年の夏は負けない去年みたいに弱くない (夢見る 15 歳)
こんなところで負けなんて認めない (タチアガール)
同情なんて必要ないさフェアで行こう (タチアガール)
かっこいい私になりたい (プリーズミニスカポストウーマン)
誰の視線なんて気にしたくない (新しい私になれ!)
好き勝手言わせてままだもん (エイティーンエモーション)

<対相手>

結局みんな理想ばっか夢見てるみたいね傷つくことを恐れてる (恋に B ooing ブー)
なんならもっと泥んこになりながら見せてよ (恋に B ooing ブー)
本当は全部決めてくれてもいいのよ (有頂天 LOVE)
私の愛を軽く見るな (私、ちょっとカワイイ裏番長)
浮気するならかっこよくどうぞ (私、ちょっとカワイイ裏番長)
優しさと許す事この違いわかりますか (地球は今日も愛を育む)

<弱さ>

一人じゃ意外とね小心者なんです (オトナになるって難しい)
意味もなく涙とか出てきちゃう (夢見る 15 歳)
泣いちゃう日もあるよ女の子だもん (タチアガール)
手が震えてなんにもできない (嗚呼すすきの)

自分自身に対する強気の言葉をかける描写が多数見られた。「こんなとこで～」や「～なんか」という表現からは現在の状況へ強い嫌悪と目標への強い向上心が感じ取ることができる。また、相手に対する強気 of 言葉をかける描写もいくつか見られた。くよくよしている「草食男子」の背中を押す描写と浮気をしている相手への描写が見られた。強気 of 言葉の一方で弱気な言葉かける描写もみられた。「意外とね小心者」や「泣いちゃう日もあるよ」という表現からは普段はこのような弱い側面があるのを知りつつ、そのような自分

に負けないように戦っているということが感じ取れる。

<直接的な接触>

あいつと腕を組んで世界中を旅したい（ショートカット）

ゆっくりその手で抱き抱き抱き抱き抱きしめて（〇〇がんばらなくてもええねんで!）

もっと強くクー私手繰りよせてイェー！（恋に B ooing ブー）

「キス」や「口づけ」といったアダルトな表現よりも、「腕組み」「抱きしめ」「手繰りよせ」といった比較的カジュアルで、グループの年齢層にあった中学生らしい表現を多く用いていることが分かる

<家庭的>

予算とかかけるわけいかない（オトナになるって難しい）

二階建てとか子供がどうかその家族には私は「なれるかなあ」（スキちゃん）

<家族>

お母さんだって夢中で誰か愛したことあるでしょう（好きよ、純情反抗期。）

がんばりすぎずにねお父さん（〇〇がんばらなくてもええねんで）

お金を気にしたり、将来のマイホームや家族設計を妄想したりする家庭的な描写が見られた。お父さん、お母さん、お姉さん、お兄さんなど家族についての描写が見られた。

<将来>

10年先でも今と一緒に愛せるって証明できる？（良い奴）

100年くらいじゃびくともしない宇宙規模の愛の距離感（私、ちょいとカワイイ裏番長）

100年先でも1000年先でも笑顔で過ごせる世の中に（スマイル音井）

いつかはきっと普通のOLして週末素敵なデートして（良い奴）

<過去>

過去のことはいいけど（あすはデートなのに、今すぐ声が聞きたい）

例え過去にどんな罪があっても（地球は今日も愛を育む）

過去のこと（具体的には浮気）は全く気にしていないわけではないが、あまり重視はしていない。むしろ、将来のことの方を重視していることが分かった。また、将来のことに関しては10年先や100年先、1000年先と長期にわたる描写に重さを感じる。「100年くらいじゃびくともしない宇宙規模の愛の距離感」という描写は「100年」という表現に加え、「～くらい」「宇宙規模」という強調の表現が加わっており、特に恋愛に対しての重さをこの歌詞から感じる。

5 結論

人称に関しては、予想通り、グループの年齢層にあった学校や学生を描写する詞が多くみられた。「あいつ」といった表現は主人公と相手との関係性の近さを感じさせるものであり、スマイレージ楽曲の特徴的な表現であるといえる。主人公（女性）が弱がったり、甘えたりする描写だけでなく、強がったり、彼の背中を押すような描写が多くみられた。強い女性のような描写は他のハロー！プロジェクト楽曲にも多く見られるが、弱気な彼の背中を押すような描写は珍しいと感じた。この点に関して、つんくのライナーノーツでは「草食男子」という当時流行していた言葉ことから組み込まれたこれらのことから、ハロー！プロジェクト特有の強い女というイメージを維持しながらも、グループの年齢層にあった表現や流行りの言葉を組み込んだりするなど柔軟な一面もみられた。また、将来重視的な表現、特に浮気が許されるという描写も特徴的だった。これは他のハロー！プロジェクトのグループの楽曲にもよく見られる描写であるが、通常悪とされる浮気が表向きは許されるのがハロー！プロジェクトの恋愛楽曲の特徴であると質的分析を通して感じた。

6 今回の調査で残った課題と調査を終えての感想

今回の歌詞分析を行っていく中で、歌詞をジャンルごとに分類して分析したが、その分類を明確に示せなかった。また、母数的にもハロー！プロジェクトの数ある楽曲の中でもほんの一部しか調査することが出来なかった。今回の調査を終えて感じたことは歌詞分析の難しさだ。特に分類分けの部分で多くの時間を要したものの、明確な分類の基準を示すことができず、曖昧な結果になってしまった。この調査を終えて改めての歌詞の複雑性とそこからくる歌詞の奥ゆかしさを感じた。今回の調査を通して、歌詞の特徴だけでなく、音楽自体の聴覚的要素や踊り方や表情などが組み合わさった上での作品のよさであることを改めて感じた。歌詞だけでなく、実際に歌って、踊っているプレイヤー自身の表現も含めて、これからもハロープロジェクトの作品を楽しんでいきたい。

ⁱ 2001年4月にプロデューサーとしての名義は「つんく♂」と改名したが、作詞作曲の名義は、今までのクレジットの表記を統一するため、現在も「つんく」のままである。（例外として、Buono!「co・no・mi・chi」においては歌詞カード及びJASRACデータベース上は「つんく♂」表記となっている。）本稿は、歌詞に着目した調査であることから以下「つんく」表記を用いる。

ⁱⁱ 1988年12月近畿大学の学生を中心とした5人で結成（まことは近畿大学附属高校出身

だが、大学には進学していない)。「シャッターズ」(しゅう、まことが所属)「RAM (乱)」(つんく、しゅう、たいせーが所属)「QP (キューピー)」(はたけが所属)の3つのアマチュアバンドから結成。グループ名はこれらの頭文字に由来している。シングル・アルバム合わせて4作品のミリオンセールスを記録した。2000年に一度活動休止するものの、2006年に再結成、2014年から再び活動休止。

iii 結成日と解釈できる日は複数あり、過去にも公式資料やメディアによって、異なる日付が記載されていることもあった。結成日と解釈できる日は主に1997年8月20日(グループ結成の意思確認が行われた日・オーディション結果収録日)1997年9月7日(オーディション結果放送日)1997年9月14日(ユニットがモーニング娘。に決定した日)1997年11月30日(メジャーデビュー決定日)1998年1月28日(メジャーデビューシングル発売日)などが挙げられる。この他にも結成日と解釈できる日は多数あるが、現在の公式資料では1997年9月14日を結成日としている。

iv 当該オーディションの合格者は平家みちよ(1997年11月にソロデビュー、2002年11月にハロー!プロジェクトを卒業)落選者は中澤裕子・石黒彩・飯田圭織・安倍なつみ・福田明日香の5名(モーニング娘。結成メンバー)なお、合格者平家みちよもハロー!プロジェクトの一員であるが、プロデュースははたけ(シャ乱Q)が担当していた。

v 上記オーディションの落選者5名から結成された。その後、インディーズシングルを5日間で5万枚を手売りで売り切るというデビュー条件を達成しデビュー(この際「1店舗における同一CDの一日の売上枚数」の世界記録15,612枚の売上げ達成:1997/11/3大阪・HMV心斎橋)グループ名の由来は「いろいろついてくる、盛り沢山、おトク感、親しみやすい」を表したものである。当時としては珍しいメンバーの入れ替え方式を導入し、このシステムを定着化させたことでも知られる。昨年で結成25周年を迎え、シングルCDオリコントップ10作品数:72作は現在も歴代1位を維持している。メンバーは延べ47名(うち現役は13名)。2014年以降はグループの末尾に西暦の下2ケタを付して、1ケタずつ英語読みをする。例:「モーニング娘。'14」(もーにんぐむすめわんふぉー)本稿では2014年以降のものを示す場合についてもこれを付さずに表記する。

vi アップフロントグループ系列の芸能事務所に所属する女性グループ・女性タレントの総称及びファンクラブ名である。1998年に平家みちよとモーニング娘。の合同ファンクラブとして「Hello!」が設立されて以来、2014年までつんくが総合プロデューサーを務める。「Hello! Project」や「H!P」の表記もあるが、本稿ではカタカナ表記を用いる。

vii インディーズ4枚目シングル「オトナになるって難しい!!!」のリリースからグループ名をカタカナ表記するようになった。以後「S/mileage」表記は英語表記として使用されることとなった。本稿では、カタカナ表記を用いる。

viii ハロー!プロジェクトでデビューを目指すレッスン生の名称。2004年に公式な制度として開始した。これ以前にレッスン生からデビューした例としては藤本美貴が挙げられる。「ハロプロエッグ」という名称は2004年から2011年末まで使用されていた。以後は「ハロプロ研修生」もしくは「ハロプロ研修生北海道」(現在在籍者なし)という名称が

使用されている。

ix 2014年12月17日の公演において「アンジュルム (ANGERME)」に改名することが発表された。フランス語の ange(アンジュ：天使)と larme(ラルム：涙)を合わせた造語で、天使のような優しい心で、いろんな涙を一緒にながしていこう、という意味が込められている。命名はメンバーの中西香菜によるものである。この改名直前の10月でつんくは総合プロデューサーを降りた。以後つんくが当該グループ(アンジュルム)の作詞を手掛けた作品は現在シングル・アルバム合わせて4曲のみである。改名に伴うキャッチフレーズの変更等についての公式発表はないものの、本稿ではスマイレージ (S/mileage) 名義の作品のみを調査対象とする。

x 15歳はフィフティーンと発音する。

xi ○○は発音しない。

xii 14枚目以降はシングル楽曲2曲(ダブルシングル)でのリリース、以降カップリング曲はリリースされていない。

xiii 音井は「おんど」と発音する。

参考文献

杉原真琴 (2019) 「秋元康の歌詞における表現特性～現代における大所帯アイドルグループを中心に～」 大阪教育大学 国語表現ゼミナール

出典

つんく♂Official Blog 「つんブロ♂芸能コース」 <https://ameblo.jp/tsunku-blog/>

2024年1月3日アクセス

ハロープロジェクト公式 <http://www.helloproject.com/>

2024年1月3日アクセス

Uta-Net <https://www.uta-net.com/>

2024年1月3日アクセス